

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2007年3月)

発表日2007年4月27日(金)

～天候不順により春物衣料の売れ行きが鈍る～

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 副主任エコノミスト 長谷山 則昭  
TEL : 03-5221-4525

(単位:%)

	商業販売額		卸売業		小売業		大型小売店			コンビニ販売額			
	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	百貨店		スーパー			
								既存店 前年比	既存店 前年比	既存店 前年比	既存店 前年比		
06	1月	5.4	2.2	7.5	2.5	▲0.5	2.5	▲2.4	▲2.8	▲0.9	▲4.2	0.3	▲3.2
	2月	5.7	▲1.4	7.1	▲1.2	1.2	▲1.6	▲1.6	▲1.9	0.3	▲3.3	1.2	▲2.4
	3月	3.3	▲3.5	4.0	▲4.7	1.1	▲0.2	▲0.0	▲0.3	1.8	▲1.9	0.7	▲2.6
	4月	3.6	2.4	5.1	3.2	▲0.9	▲0.5	▲0.6	▲0.9	▲0.4	▲1.3	▲1.8	▲5.0
	5月	6.6	1.3	8.8	1.5	0.1	0.7	▲0.9	▲1.6	▲1.2	▲1.9	0.2	▲2.9
	6月	4.4	0.2	5.7	0.2	0.2	▲0.3	▲0.5	▲1.2	▲1.9	▲0.7	3.2	0.6
	7月	4.8	▲0.9	6.4	▲0.9	▲0.1	▲1.2	▲1.0	▲1.4	▲1.4	▲1.3	▲2.4	▲5.2
	8月	5.6	5.0	7.0	6.4	1.0	1.3	0.6	0.1	▲0.8	0.7	0.8	▲1.8
	9月	3.2	▲6.5	4.0	▲8.2	0.5	▲1.5	0.8	0.8	1.3	0.4	▲0.8	▲3.4
	10月	6.0	5.1	7.9	6.9	▲0.1	▲0.3	▲1.7	▲1.7	▲2.0	▲1.4	2.0	▲0.6
	11月	3.5	▲0.8	4.7	▲1.2	▲0.3	0.2	▲0.8	▲0.8	▲0.3	▲1.2	1.1	▲1.5
	12月	2.2	▲1.1	2.9	▲1.4	▲0.2	0.0	▲1.6	▲2.4	▲2.2	▲2.6	2.2	▲0.2
07	1月	2.2	3.3	3.3	4.1	▲0.9	2.8	0.6	▲0.5	0.0	▲0.9	1.7	▲0.7
	2月	3.0	▲0.5	3.9	▲0.7	▲0.2	▲0.8	1.4	0.5	1.5	▲0.2	1.3	▲1.1
	3月	1.3	▲5.8	1.8	▲7.4	▲0.7	0.0	▲0.3	▲1.1	▲1.5	▲0.9	0.9	▲1.4

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

## ○3月の小売業販売額は前年比▲0.7%

3月の商業販売統計によると、小売業販売額は前年比▲0.7%と前月(同▲0.2%)からマイナス幅が拡大し、コンセンサス(▲0.4%、レンジ:▲1.0%～+1.1%)からは小幅下振れた。季節調整値でも前月比▲1.3%と2ヶ月連続でマイナスとなった。2月は暖冬により前倒しで投入された春物衣料の売れ行きが好調だったが、3月は月中旬に気温が低下して春物衣料の動きが鈍ったことが押し下げ要因となり、やや弱含んだ形となった。

また、大型小売店販売額は前年比▲1.1%(既存店)、前月好調だった反動もあって前月対比でも▲3.3%と落ち込んだ。業態別にみると、百貨店販売額(既存店)が前年比▲1.5%と3ヶ月ぶりにマイナスとなり、スーパー(既存店)も前年比▲0.9%とマイナス幅が拡大した。百貨店、スーパーともに飲食料品は堅調であったが、衣料品の落ち込みが足を引っ張った形となった。また、コンビニエンスストア販売(既存店)は、前年比▲1.4%(2月同▲1.1%)だった。

## ○飲食料品は好調だったが、衣料品および自動車販売が不調

小売業販売額を業種別にみると、マイナスに寄与したのは織物・衣服・身の回り品小売業(前月比▲3.6%)、各種商品小売業(同▲2.6%)、自動車小売業(同▲3.9%)などである。百貨店などが含まれる各種商品小売業や織物・衣服・身の回り品小売業などの衣料品が主力の業種では天候不順が販売減につながった。また、軽自動車は前年を上回って推移しているものの普通自動車は低迷が続いており、自動車販売は芳しくなかった。一方、プラスに寄与したのは飲食料品小売業(前月比+1.7%)である。家計調査でも飲料・酒類の消費が好調だったが、月を通してみれば気温が高かったこと、今年は桜の開花が前年よりも早かったこと等が飲食料品の売上を押し上げたと考えられる。

## ○ 1-3 月期の個人消費は堅調

小売業販売額（季節調整値）の1-3月期は前期比+0.9%となっており、財消費は前期から増加した。外食や旅行などのサービス消費も良好に推移しているとみられ、需要側からみた個人消費の統計である家計調査も好調なことを勘案すれば、1-3月期のGDP個人消費は比較的高い成長になることが見込まれる。

